

第2部 環境都市像及び基本目標

1 目指すべき環境都市像

- 社会、経済及び文化の発展と環境の保全及び創出により、人と自然が共生する豊かな環境都市を実現するため「目指すべき環境都市像」を設定します。

「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」

～岐阜市環境都市宣言より～



私たちは、新たなライフスタイルの転換を図りつつ、

- 1 自然との共生、共存をはかり、快適環境を創出します。
- 1 循環型社会をめざした、事業活動や市民生活を構築します。
- 1 地域の環境づくりに、自ら積極的に取り組みます。



2 基本目標

- 目指すべき環境都市像の実現に向け、次の5つの基本目標を設定します。

目指すべき環境都市像
環境と調和する、
人にやさしい都市岐阜

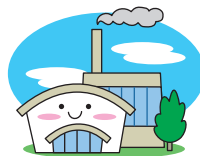
基本目標① 次世代を思い、みんなが環境を守ることに参加し、環境に配慮したまち

基本目標② 自然と共生・共存を図り、豊かな自然とふれあえるまち

基本目標③ 健康で安全な生活環境が保たれているまち

基本目標④ 地球温暖化対策に取り組み、低炭素社会が形成されたまち

基本目標⑤ ごみの減量化が図られ、資源が循環しているまち



基本目標①

『次世代を思い、みんなが環境を守ることに参加し、環境に配慮したまち』



環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに向けて、市民、環境保全団体、事業者及び市のすべての主体が、それぞれの役割を担い、協働して取り組むことが重要です。

そのため、環境教育・環境学習を推進し、環境への意識向上及び共通認識を図るとともに、次世代に負担を負わせないために自発的に取組を行うなど、環境に配慮したまちを目指します。

基本目標②

『自然と共生・共存を図り、豊かな自然とふれあえるまち』



長良川や金華山などの豊かな自然環境は、多種多様な動植物の生息・生育の場として重要であるだけでなく、自然とふれあえる大切な市民の憩いの場です。

そのため、緑や水環境の保全・創出を図るとともに、貴重な動植物の保護・保全に努めるなど、豊かな自然とふれあえるまちを目指します。

基本目標③

『健康で安全な生活環境が保たれているまち』



快適な生活環境を維持するため、大気や水環境（地下水及び土壌を含む）を保全しつつ、大気汚染、騒音、振動、悪臭、水質汚濁等の公害に対しても、市民ニーズを踏まえ適切に対応していく必要があります。また、有害化学物質等による新たな環境問題への対応も必要です。

そのため、環境汚染の未然防止や拡大抑制に努めるなど、市民が健康で安全に暮らすことができるまちを目指します。

基本目標④

『地球温暖化対策に取り組み、低炭素社会が形成されたまち』



日常生活や事業活動から生じる環境への負荷は、地球規模の環境問題に大きく影響を与えており、その解決に向けては、一人ひとりが自らの問題としてとらえ、ライフスタイルの転換や事業活動における環境への配慮など、自主的に環境への負荷を低減する行動が求められます。

そのため、エネルギーの省力化や再生可能エネルギーの利用などを促進し、温室効果ガスである二酸化炭素の排出抑制に努めるなど、市域一体となり地球温暖化対策に取り組んだ低炭素なまちを目指します。

基本目標⑤

『ごみの減量化が図られ、資源が循環しているまち』



限りある資源を有効に活用し、持続可能な循環型社会を実現するためには、生産、流通、消費、廃棄のすべての段階において、ごみの発生抑制や資源の循環的利用、廃棄物の適正処理を推進する必要があります。

そのため、ごみ減量の意識及び取組への価値観を高め、一人ひとりが行動につなげるなど、ごみの減量・資源化が図られたまちを目指します。